

物流・生活面における定時性確保・所要時間短縮効果を実感！

～国道56号 宇和島道路の開通1年後の効果について～

国土交通省大洲河川国道事務所では、宇和島市内における交通混雑の緩和を図るとともに、四国横断自動車道と接続し、広域ネットワークの形成を目的に宇和島道路の整備を進めているところです。平成22年3月27日(土)津島高田IC～宇和島南IC間、延長約7.8kmが開通し、開通約1年後の交通状況と効果をお知らせします。

■宇和島道路供用後は、全体交通量の44%、大型車交通においては49%の交通量が宇和島道路へ転換し、宇和島市内における交通環境が改善されました。

【物流関係者】

定時性の確保・所要時間の短縮による「物流効率化」の効果を実感

所要時間の短縮(宇和島道路 津島高田～宇和島南 供用区間)

整備前:15分 ⇒ 整備後:7分 『8分短縮』

定時性確保に関する意識調査

到着時間の遅れへの心配について ⇒ 94%の人が「物流効率化」の効果を実感

【乗用車利用者】

定時性の確保を実感

所要時間のバラツキが減少(宇和島道路 津島高田～宇和島南 供用区間)

整備前:15分 ⇒ 整備後:2分 『13分改善』

【道路利用者】

交通環境の改善及び交通量の増加

供用後、全体交通量の約4割が宇和島道路を利用

慢性的な渋滞が解消されたことで、交通環境が改善され交通量も増加傾向

【道路利用者】

高速道路の整備は地震・津波の災害対応に必要な役割を担います

災害に対する意識調査

東北太平洋沖地震後の首長意見

平成23年4月25日

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」「No.6防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 TEL0893-24-5185(代表)

副所長(道路) 泉川 暢宏 (内線205)

◎計画課長 大西 篤 (内線261)

◎主な問い合わせ先

国道56号 宇和島道路について

[概要]

宇和島市街部では交通混雑・渋滞が慢性化しており、周辺市町を含めた地域全体の生活や産業にまで、深刻な影響を及ぼしてきている。

宇和島道路は、市街地に集中している交通を分散させて交通混雑・渋滞を緩和し、安全で円滑な交通確保を図るものである。

また、「四国8の字ネットワーク」は、高規格幹線道路等のネットワーク効果を四国内の隅々まで波及させるとともに、第三次医療機関への搬送や、南海地震等災害時の緊急輸送道路として、大きな役割を担う必要不可欠な社会基盤であり、本事業はその高速ネットワーク形成の一部を担う事業として位置づけられている。

平成17年7月までに宇和島南ICから宇和島北ICまでの6.2km間を暫定供用しており、平成22年3月27日に、宇和島市津島町高田(津島高田IC)から同市保田(宇和島南IC)までの7.8km間の暫定供用を行った。

- 路線名: 国道56号 宇和島道路
- 計画区間: 愛媛県宇和島市津島町岩松～宇和島市高串
- 全体延長: 17.5km(4車線: 14.0km、2車線: 3.5km)
- 構造規格: 第1種第3級(自動車専用道路)
- 幅員: 10.5m(暫定2車線)



[位置図]

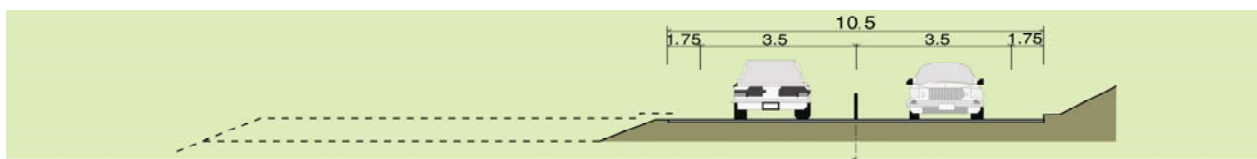
一般国道56号 宇和島道路 延長17.5km



[断面図]

自動車専用道路 (暫定2車線供用)

単位: m



宇和島道路(津島高田IC～宇和島南IC間)の開通1年後の状況 (1/4)

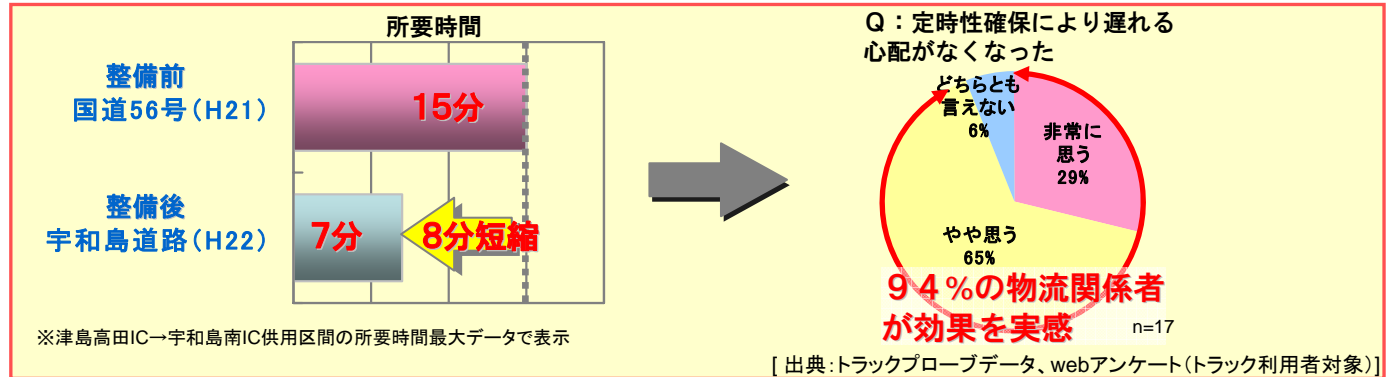
物流関係者から、定時性の確保・所要時間の短縮による「物流効率化」の効果を実感！

- 愛南漁協のカツオの漁獲量は四国第1位であり、南予地域の生活を支える基幹産業。道路の線形が良くなることにより荷傷みが減少。
- 「顧客の信頼向上のための定時制確保」について所要時間が8分短縮となり、物流関係者の9割が効果を実感。

■宇和島道路への物流の経路の変化



■市場拡大のための所要時間の短縮、到着誤差の心配が減少



■愛南漁協の声

宇和島道路が供用して、ラッシュ時も混まなくなった。以前は時間が読めなかったため、到着遅れにより顧客の信頼低下が心配であったが、今は時間が読めるようになった。また、さらに南へ道路を整備してもらえると効果は大きいと考えている。

[出典:ヒアリング調査]

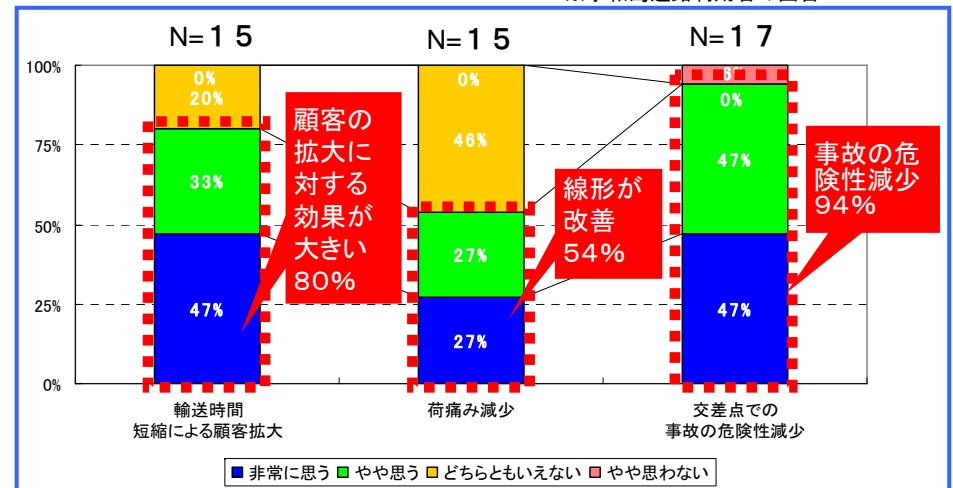
■物流関係者の声

[出典:ヒアリング調査]

- ・時間の短縮でドライバーが余裕を持って走れるようになり、事故にもつながりにくくなったと思う。
- ・以前は宇和島南ICに着くまでが混雑し、特に月曜日と雨の日の混雑がひどかった。月曜日と雨の日が重なるとさらにひどくなり時間が読めなかったが供用後は定時性が確保されている。

■宇和島道路の効果 (物流関係者)

[出典:webアンケート(トラック利用者対象)]
※宇和島道路利用者の回答



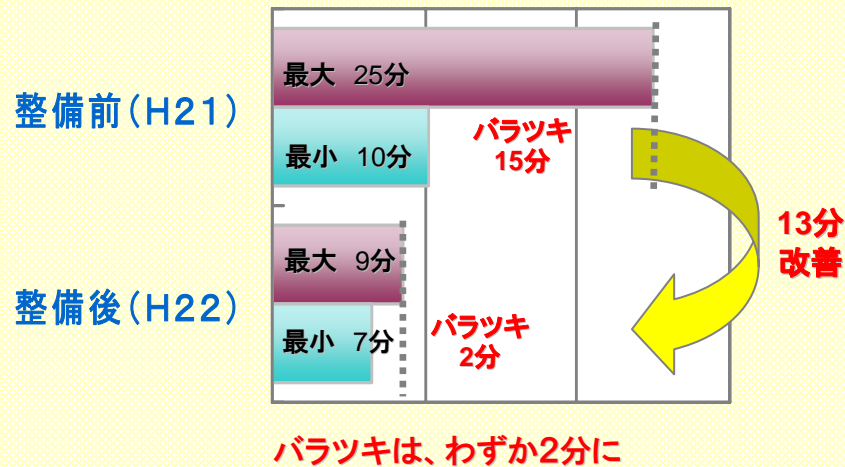
宇和島道路(津島高田IC～宇和島南IC間)の開通1年後の状況 (2/4)

宇和島道路の整備により、交通環境が改善され「定時制の確保」を実感！

○渋滞が解消し所要時間のバラツキが減少。日常生活において遅れる心配がないと**バス利用者の約7割以上**が実感

■通勤面でも、所要時間バラツキが減少

津島高田ICから宇和島南ICの到着時間



[出典:乗用車プローブデータ]

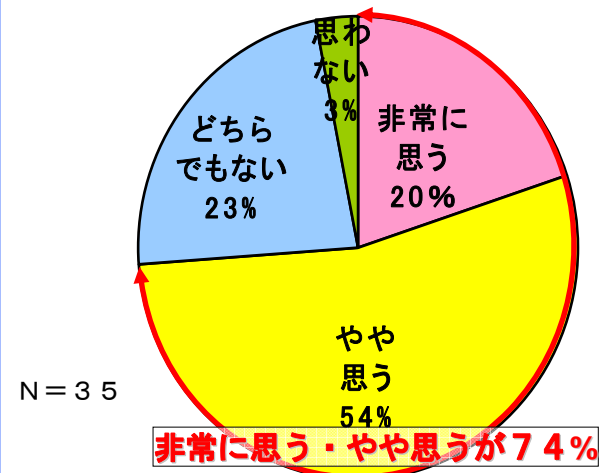
■一般利用者の声

[出典:webアンケート]

- ・定時性が確保され、**容易に計画が立つ**ようになった。
- ・今まで**宇和島**は遠いと思っていたが、**とても近くなった**。
- ・通勤時間が短縮され、**朝にゆとりが出来**、車を運転するときのゆとりが出来たので、**渋滞でイライラすることもなく**、交通事故の**危険性が減った**と思う。

■宇和島道路の効果

Q: 定時性が確保され遅れる心配がなくなった



[出典:webアンケート(バス利用者対象)]

※調査期間

プローブデータ: H22年10月上旬～11月下旬
webアンケート: H23年1月下旬～2月上旬

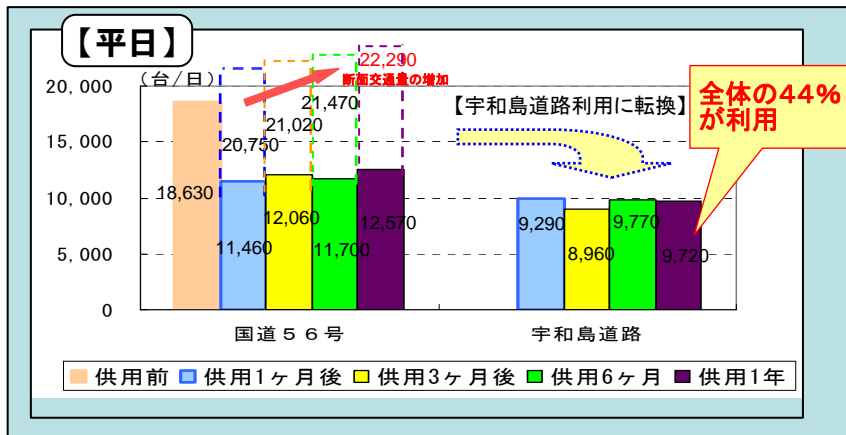
【プローブデータ】

調査対象車両に、旅行速度計測機械を設置し、出発地から目的地への所要時間・速度等を計測したデータ

宇和島道路(津島高田IC~宇和島南IC間)の開通1年後の状況 (3/4)

国道56号の交通環境が改善され、宇和島圏域を通行する交通量が増加しました。

- 国道56号の利用者が**宇和島道路に転換し、交通環境が改善**されました。
- 国道56号と**宇和島道路における断面交通量が増加**しました。
- 交通量増加により**南予地域の経済や観光が活性化**されつつあります。



交通量調査

調査日	交通量(平日)		
	断面交通量	国道56号	宇和島道路
開通前	H21.11.18(水)	18,630	—
開通1ヶ月	H22.5.11(火)	20,750	11,460
開通3ヶ月	H22.6.23(水)	21,020	12,060
開通6ヶ月	H22.9.29(水)	21,470	11,700
開通1年	H23.3.16(水)	22,290	12,570

国道56号(松山方面行) **解消**
 平日朝 最大渋滞長: 3,350m → 0m
 休日夕 最大渋滞長: 6,750m → 0m

宇和島道路(津島方面行) **解消**
 平日夕 最大渋滞長: 1,750m → 0m
 休日夕 最大渋滞長: 550m → 0m

【平日】宇和島道路
 大型交通量 870台/24h

大型交通の
 49%が利用

【平日】国道56号
 大型交通量 900台/24h
 (大型交通の51%)

国道56号(津島方面行) **解消**
 平日夕 最大渋滞長: 350m → 0m
 休日夕 最大渋滞長: 550m → 0m

宇和島道路



宇和島道路(津島高田IC～宇和島南IC間)の開通1年後の状況 (4/4)

四国横断自動車道・宇和島道路の整備は、地震・津波の災害対応に必要な役割を担います。

○宇和島道路・四国横断自動車道は、東南海・南海地震に伴う津波浸水の大規模災害における緊急輸送活動や医療施設へのアクセス向上による救命活動を支援します。

